

## 6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北陸)	良くなる	観光型旅館（スタッフ）	・8月以降の予約状況については、10月のみ前年同月比99%となっており、それ以外の月については、107%～131%の予約を確保している。ただし、12月以降の予約状況については厳しい状況にある。
	やや良くなる	一般小売店〔精肉〕（店長）	・前月終わりごろから客の購買意欲が非常に高まっているような感じがしていることにより、このまま景気が上向きになるように予想している。
		スーパー（店長）	・競合店が出店してから1年が経過したことにより、来客数はこれからは伸びてくるのではないかと想定されること、及び、当店においても様々なイベントをすることにより、客の来店頻度が高くなるのではないかと想定される。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車メーカー各社が新型車の発表を予定しているため、販売が活発になると予想する。
		乗用車販売店（役員）	・新型車の発表を控えており、効果を期待している。また、消費税率引上げの判断も明らかになると思われるため、増税となった場合、駆け込み需要が期待できる。
		一般レストラン（スタッフ）	・今年に入り来客数の動きが堅調であることより、今後2～3か月先の状況についても当該状況は継続し、やや良くなると予想する。
		旅行代理店（従業員）	・参議院議員選挙も一段落し政権にも安定感がみられるため、今後2～3か月先の状況についてはやや良くなると予想する。
		通信会社（営業担当）	・新商品の発売を控えているため買い控えも発生すると思うが、商品の発売間隔が短くなってきているため極端な落ち込みはみられず、今後2～3か月先の状況はやや良くなると予想する。
	変わらない	商店街（代表者）	・気候と懐具合の両面により、外出を控える傾向は続きそうである。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	・消費税率引上げ前の設備投資を期待するが、相変わらず客単価が低く受注量は鈍化している。
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・円安による輸入海産物の値上がりは依然として継続している。さらに、今年の猛暑の影響により海水温が上昇し、旬の魚の時期にずれが発生しており、魚価も上昇している。なお、上述の状況による販売価格への転嫁は難しく、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
		百貨店（売場主任）	・消費税率引上げの決定状況にも左右されそうであるが、消費に対する意欲が減退しているようには思われず、引き続き高額商品の販売がけん引すると想定され、今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想する。
		百貨店（営業担当）	・消費税率の引上げ問題により、高額品を中心にやや購買をためらっているというのが実態である。当該状況からすると、高額品などは多少厳しい状態が続くと想定されるが、日常的商品や秋のトレンド商品についても必要なもの以外は購入しないという購買行動は引き続き続くと想定している。
		百貨店（営業担当）	・いよいよお歳暮や年末の繁忙期に入る月になるが、来客数については今よりも期待ができると思われる。なお、アパレル関係では重衣料が、また、ランジェリーにおいてはインナーやパジャマが動く時期ではあるが、景気が著しく上昇することはなくそれほど変わらないと想定されるため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
百貨店（一般顧客訪問担当）		・消費税率引上げの問題もあり、消費について慎重になる傾向が続くと思われる。	
スーパー（店長）	・季節の巡りが前年より難しく、秋物の販売が難しい状況にある。客の購買意欲をどれだけ高められるかがポイントであり、今後の状況が読めないため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。		
スーパー（総務担当）	・10月に最低賃金の上昇もあるとみられるが、大きな影響は無さそうである。消費税率の引上げの直前までは、景気は横ばいと予想している。		
コンビニ（経営者）	・店頭で作るコーヒーや缶詰などについては好調に推移しているが、来客数が減少している影響もあり、主力商品を中心に売上の減少は続いており、今後2～3か月先もこの状況は変わらないと予想する。		
コンビニ（経営者）	・競合店ができた際には、売上については、一時的に前年同月比80%位になると予想していたが、現在は意外と健闘している。現在の状況が大きく変わる様相は無く、しばらくは今の状況が続くと想定している。		

コンビニ（店舗管理）	・低単価商品が売上を下支えしているものの、消費者の購買意欲が活発になる要素が見付からず、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
衣料品専門店（経営者）	・今年も残暑が厳しそうであることにより、秋物の動きが鈍く、売上の的には心配しており、今後2～3か月先もこの状況は変わらないと予想する。
衣料品専門店（経営者）	・お盆休みも終了したが周囲の人からは暑さなどにより例年より質素に過ごした話などを耳にすることより、景気は悪い方向に向かっており、円安や株高の恩恵を享受している人は我々の知らない所でお金を使っているのではないかと思われる。この状況は、今後2～3か月先も変わらないと予想する。
衣料品専門店（総括）	・低価格路線からの脱却を進めているが、食料品、電気及びガスなどの値上げに伴い消費者の購買意欲が上がっていかず、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想する。
家電量販店（店長）	・買い渋りも12月の年末まで続き、安い時や必要な時期のみに商品を購入する傾向は続くと思われる。
家電量販店（店長）	・暑さによる売上の増加はあるが気温が落ち着くと反動により実績が落ち、全体の売上は多少増加した程度であるため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
家電量販店（管理本部）	・減税などを含め、実際に所得が上がるような動きや情報も無いため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
乗用車販売店（従業員）	・来客数が増加となる目玉が、今のところ特に無い。
自動車備品販売店（従業員）	・冬季に向けたスタッドレスタイヤの反応状況も価格志向であり、性能重視から価格に焦点を置いている客が多く、依然として厳しい状況にある。
住関連専門店（店長）	・消費税率引上げ問題で一時的には上がると思うが、無駄なものはまず買わない。プラス要素が少なくなっているため、全体的には変わらないと予想する。
その他専門店〔酒〕（経営者）	・実際はこれ以上悪くなる可能性を秘めているのではないかと多少不安な毎日であるが、希望的観測により、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・サラリーマン世帯の動きをみると、やはり安い価格の所に行っている状況であるため、現在の景気は上向きには向いていないと感じられる。
その他専門店〔医薬品〕（総務担当）	・化粧品売れ筋が低価格品にシフトしており生活防衛の姿勢が続いているが、不要不急商品の買い控えが要因と考えている。また、来客数は減少傾向にある。今後2～3か月先もこの状況は変わらないと予想する。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・一時期の消費回復にも一服感があり、それよりも公共料金の値上げなどに対する防衛や節約のムードを強く感じるため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
高級レストラン（スタッフ）	・プライベート利用が安定してきたためランチの最低価格の見直しを行ったが、来客数の減少以上に単価が上がったため利益率が上がってきている。今後2～3か月先もこの状況は変わらないと予想する。
一般レストラン（店長）	・雰囲気先行による景気回復であり、なかなか回復が実感できないなか、最近の中東情勢により雰囲気さえ見通せない状態にあるため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
スナック（経営者）	・今の予断を許さない状態が続く気配の当店においては、今後も期待ができないと感じている。
観光型旅館（経営者）	・個人客や家族客の動く日は予約が入っているが、企業や団体ないしグループの予約状況は相変わらず厳しいため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
都市型ホテル（スタッフ）	・各部門の予約状況は今一歩であり、見通しは厳しい。
都市型ホテル（スタッフ）	・消費税率引上げの駆け込み需要も見込めないため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
タクシー運転手	・一時的には良い時もあるが、全体としてはまだ回復には時間が掛かると予想する。
タクシー運転手	・例年であると売上が増加する8月において、今年はそれほど増加しなかったため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
通信会社（職員）	・家計に直接影響するようなガソリン代、電気料などの単価上昇に対する客の警戒心が相変わらず強く、売上を大きく増加させるような動きは期待できない。

	通信会社（営業担当）	・新商品が発売されキャンペーンにより新規契約数は伸びているにもかかわらず、来客数が想定していた人数よりも少ないため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。	
	通信会社（役員）	・建設機械の下請会社が多い地域ではあるが、円安及び株価上昇などの追い風要素による景気の上昇についてはまだ感じられないため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。	
	テーマパーク（職員）	・今後3か月先の予約状況を前年同月比でみても、ほぼ今月と同水準にあることより、今後2～3か月先の状況は今月と変わらないと予想する。	
	美容室（経営者）	・地方にまで景気が良くなるのはまだ先との認識が消費者に強く、財布のひもは緩くなっていないため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。	
	住宅販売会社（経営者）	・消費税率引上げ前の駆け込み需要により、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。	
	住宅販売会社（従業員）	・増改築及びリフォーム部門は今後も順調に推移するとみられるが、新築部門は現状の消費税率の適用が実質9月末に終わることより駆け込み需要が一段落し、今後の伸びは期待できないため、今後2～3か月先の状況についてはほとんど変わらないと予想する。	
	住宅販売会社（従業員）	・現行の消費税率が適用される工事請負契約の締結期限の9月末以降における契約の動向が不明瞭であるため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。	
やや悪くなる	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・消費税率の引上げや物価の上昇など生活が圧迫されることばかりが多く、とても景気が良くなるとは考えられず、今後2～3か月先の状況についてはやや悪くなると予想する。	
	百貨店（営業担当）	・最近の水害により買い控えが多いと思われるため、今後2～3か月先の状況はやや悪くなると予想する。	
	スーパー（総務担当）	・食品関係の値上げや消費税率引上げの話題が出てきているため、これからは節約意識も高まり消費が伸びず景気が良くなるとは思えないため、今後2～3か月先の状況についてはやや悪くなると予想する。	
	スーパー（統括）	・8月は多少需要が高い月であり、客においては自分の家族への出費などにより悪くはない時期であるが、今後は円安とエネルギー価格の上昇から前年より負担が増加することにより、食品に回ってくるお金が以前よりも減少すると想定される。	
	コンビニ（店長）	・今月は気温に後押しされての好調であった。なお、今月は例年同月よりも一度雨が降ると規模の大きな雨も降り、天気の良い時や月末の気温が急に下がったところからの売上は、前年同月を下回った。なお、8月下旬においては前年同月を10%以上下回っているため、9月の状況については天気次第ということもあり、今から不安な状況である。	
	旅行代理店（従業員）	・消費税率引上げの議論をいつまでも実施しているのみではマイナスのイメージのみが刷り込まれ、消費に意識が向いていかないように思う。したがって、決まった事や決めた事は確実に実施し、そのための対策をしっかりと打ち出さない場合、再び消費より節約に向かってしまうことが懸念される。	
	通信会社（役員）	・デジタルテレビの高機能化が進み、インターネットとの接続により、操作性や視聴に関わる付加機能が大きく進化しているなかで、コンテンツ提供事業者間の競争も今後さらに激しくなると予想しており、今後2～3か月先の状況はやや悪くなると想定している。	
	競輪場（職員）	・地元記念レースの終了で一段落した感じが漂い、例年売上が伸び悩む時期に突入する。	
	その他レジャー施設（職員）	・次の会員増につながる秋口のキャンペーンまで会員数の増加が見込めないため、今後2～3か月先の状況についてはやや悪くなると予想する。	
		住宅販売会社（従業員）	・消費税率は必ず上がると思うため、9月までの契約量が増えた分の反動減は必ずあると思っている。ただし、その増え方はそれほど多くはないため、消費税率が一気に3%上がらなければ景気への影響も限定的と想定している。
		住宅販売会社（従業員）	・工事請負契約が9月末を過ぎると消費税率引上げにより8%が適用されるため、しばらくは客の動きが鈍くなると予想する。
	悪くなる	—	—
企業 動向 関連	良くなる	—	—
	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・受注量としては厳しさが続いているが、一部の新規客や商品の受注が決まっており、変化の兆しを感じられるため、今後2～3か月先の状況はやや良くなると予想する。

(北陸)		繊維工業（経営者）	・将来的な試作開発要望も多く、また仮受注の動きもみられる。	
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・消費税率引上げの影響については、3か月後には効果が一層出てくると予想している。	
		一般機械器具製造業（総務担当）	・欧州及び米国からの引き合いが増えてきている。また、受注単価も上がっており、景気が上向きと考える。	
		精密機械器具製造業（経営者）	・異業種関連の比較的大手からの加工依頼が数件あり、年末に向けて新製品の加工量が増えていく予定となっている。	
		建設業（総務担当）	・消費税率引上げ前の工事の増加が見込まれ多少はプラス材料になるものの、施工能力に限度があり、大幅な好転は難しい。	
		司法書士	・経営に問題のあった企業の支援が進んでいるため、今後2～3か月先の状況はやや良くなると予想する。	
	変わらない		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の分の受注の入り具合をみて、変わらないと予想する。
			一般機械器具製造業（経理担当）	・これからの景気回復には国内の設備投資が鍵となってくると思われるが、当該投資の回復が遅い。また、今後も設備投資が大幅に増加することは考えにくく、現状維持で推移すると予想している。
			建設業（経営者）	・この時期は例年同様に、1～9月の上半期に発注された公共工事の施工が忙しくなることが予想されるが、今年は大型工事に技術者が割かれることにより余計に多忙感が募ることが想定される。しかし、資材価格の上昇、施工機械の不足及び交通誘導員の不足など、コストアップ要因が目白押しであることより、それほど景気が良くなるとは思われず、今月と変わらないと予想する。
			輸送業（配車担当）	・来年の消費税率の引上げにより物量は増えるものの年内一杯で横ばいになると感じているため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
		通信業（営業担当）	・ビジネス電話機の受注数が多少上がっているものの、今後の期待は難しい状況にある。	
		金融業（融資担当）	・ある程度円安メリットを受け、企業業績の改善がみられるが、給与収入など一般消費者への波及にはもう少し時間が掛かると思われる。	
		不動産業（経営者）	・周囲の話を聞くと、2～3か月先には、法人客及び個人客に関する情報も話題が出てこなくなるとの意見が多いが、状況はほとんど変わらないと予想する。	
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・8月のチラシ出稿量は衣料及びドラッグストアなどの量販店を中心に増加したが、これは前月の参議院議員選挙で出稿を抑えた反動ではないかと思われる。今後2～3か月先の状況については、9月の出稿量をみないと判断しかねるが、変わらないと予想する。	
やや悪くなる		食料品製造業（役員）	・為替の影響により、原料、燃料及び包装資材において、値上がりの状況が見受けられ、また、販売量確保のための割戻や販売手数料の増加も散見され、悪くなる方向に傾いていることから、今後2～3か月先の状況についてはやや悪くなると予想する。	
		金融業（融資担当）	・政府の政策次第であるが、第3の矢も鳴かず飛ばすであり、期待はしたいが今のままでであると弱含みで推移していくと予想する。	
		税理士（所長）	・現在、最初の頃の円安あるいは株価の高止まりという状況には無いため、客は様々な投資を一服している状態である。機械関係を輸出している客をみても、国内の設備投資につながる製造は少なくほとんど海外向けであるが、中国への輸出は鈍っているため非常に閉塞感がある。中小企業の経営者や元請けの中堅企業の経営者は、以前は良くなる要素や期待感があったが、現在は具体的に良くなる要素がみえてきていない感じを持っているため、今後2～3か月先の状況についてはやや悪くなると予想する。	
雇用 関連  (北陸)	悪くなる	—	—	
	良くなる	—	—	
	やや良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・県外の大手自動車メーカーからの求人が8月は遅れていたが、自動車メーカーの生産が増えることにより、景気に対しても良い影響が出てくると想定している。	
		職業安定所（職員）	・今月の新規求人数は前年同月比15.5%の増加となった。建設業や医療及び福祉などの業種においては人手不足となっている事業所もあり、製造業の求人においても食品、印刷及び化学工業などで増加していることにより、今後2～3か月先の状況はやや良くなると予想する。	
	職業安定所（職員）	・製造業の求人数が徐々に増えていることにより、次第に良くなっていくと思われる。		

変わらない	人材派遣会社（役員）	・派遣の需要件数が増加せず、かつ、専門職の成約状況も厳しいため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
	人材派遣会社（社員）	・求職者と求人企業のマッチング情報の不足により賃金格差がみられ、ミスマッチは今後も続く予想する。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・今月は3か月前と求人数がほとんど変わらない状況にあるため、良くなる見通しが見込めない。
	民間職業紹介機関（経営者）	・アベノミクス効果を期待しているが、地方の求人や採用の拡大に至るまでには、まだ時間を要すると思われる。
やや悪くなる	—	—
悪くなる	—	—